

有識者意見の概要及び意見に対する対応

| 1. 調査研究課題名「欧州における国際航空ネットワークの動向に関する調査研究」 | |
|--|---|
| 2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：遠藤 伸明 氏 東京海洋大学 海洋工学部 教授 花岡 伸也 氏 東京工業大学大学院 理工学研究科国際開発工学専攻 准教授 | |
| 意見の概要 | 意見に対する対応 |
| <ul style="list-style-type: none"> ヒアリング調査先の選定に関しては、英国が、島国で近接する大陸に大きな経済圏があり、さらに航空先進国であることから、欧州の中で日本の参考にするという視点は良いと思う。ただし、英国は、規制緩和やLCC導入に関して先進的過ぎる可能性があるため、日本の状況を意識して行うのがよい。 | <ul style="list-style-type: none"> 英国の先進性を踏まえながら、調査先を選定し、ヒアリング調査を実施しました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 英国と日本には類似点が多いとはいえ、友人や親族に対する訪問目的（VFR：Visiting Friends and Relatives）の需要やセカンダリー空港の存在など、完全に同じ状況ではない点に留意する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 日本と完全に同じ状況はないと考えられるため、英国以外のドイツやフランス等の基礎的な情報や航空・空港に関する情報も記載しました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 報告書の中で、空港や航空会社、地域(自治体)間の関係性を示す図があるとわかりやすくなる。 | <ul style="list-style-type: none"> 本報告書の中に空港や航空会社、地域(自治体)間の関係性を示す図を作成し、その役割や協力内容を記載しました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 各国の航空・空港に関するデータを整理するとともに、できるだけ異なるタイプの空港会社を対象に聞き取り調査を行うことが望ましい。異なるタイプを選ぶことにより、多角的な視点で知見等が得られると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> 英国の航空・空港に関するデータを元に、異なるタイプのヒアリング調査先を選定し、ヒアリング調査を実施しました。ご指摘の通り、大規模な空港から小規模な空港へのヒアリング調査によって、様々な施策や知見を得ることができました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 各国の国際航空に関するデータを集めたので、回帰分析等を行うとより良い調査研究になる。 | <ul style="list-style-type: none"> 次年度の調査研究において、回帰分析等による統計的分析を検討いたします。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ヒアリング先の空港はいずれも運営権の全体・一部が民間所有されており、一部の空港を除き出資者（経営主体）が近年になって変更されていることから、何らかの言及があると望ましい。 | <ul style="list-style-type: none"> 第3章第3節に、出資者（経営主体）の変更による影響を記述致しました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ヒアリング結果のまとめについて、英国の良い点・学ぶべき点のみがまとめられているが、ヒアリング結果から得られた課題や教訓もまとめておくことが望ましい。 | <ul style="list-style-type: none"> 第4章のまとめの部分に、ヒアリング結果から得られた課題等を追記しました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 実情として航空会社が空港を選ぶ立場にあり、そのために空港間競争が激化しており、4章のまとめの書き方に工夫が求められる。 | <ul style="list-style-type: none"> 第4章のまとめの部分に、空港間の競争に関する記述を記載しました。 |